

# 異文化対立から見る相互理解の糸口

仙台第三高等学校 人文F8班

## 1. はじめに

近年グローバル化が進み、多様な文化に触れる機会が多くなっている。しかし、多様な文化同士が近くなっていくほど異文化の存在が大きくなる。そのため、文化の対立が起きるリスクも高まってしまふ。そのリスクを未然に防ぐため、これからグローバル社会を生きる私たちに、どのような姿勢が求められるのだろうか。私たちは、互いの文化に寛容になれる方法を探していきたいと思い、本研究を行うことにした。

## 2. 方法

捕鯨文化、銃社会の文化、イスラム文化、それに関する実際に起きている文化の対立と、その対立の原因を調べる。それらを比べることで共通点を見出し、異なる文化対立から相互理解への糸口を模索する。

## 3. 結果・考察

### ① 捕鯨問題

オーストラリアを中心とする反捕鯨国と日本を中心とする捕鯨国の対立

それぞれの主張

クジラは高い知能を持っているからかわいそう。



反捕鯨国側

他にも…

- ・クジラの殺し方が残虐
- ・絶滅の恐れがある

捕鯨は伝統文化で、余すことなく活用している。



捕鯨国側

他にも…

- ・生態系を調査するために調査捕鯨は必要
- ・重度の食物アレルギーの人の重要なたんぱく源である

#### 実際に起きた対立

- ・オーストラリアが日本を訴訟
- ・シーシェパードによる日本の調査捕鯨船妨害

IWC(国際捕鯨委員会)の総会で、商業捕鯨再開否決  
→日本IWC脱退を示唆(2018年9月)

#### 考えられる対立の原因

- ・反捕鯨国には捕鯨国の事情を知らずに(または誤った情報により)反対する人もいる。

お互いの主張を偏見によって、背景などを理解せずに批判のみをしている。

### ② 銃社会

銃社会の国と非銃社会の国の対立

それぞれの認識

(自国は非銃社会)  
銃は危険なもので、凶悪犯罪の凶器にもなる。銃を持つこと自体を禁止すべき。



銃社会反対側

他にも…

- ・銃社会の国の自殺のための凶器になっている(トップの国では自殺全体の約57%:2006年調べ)

自衛のために必要。人を殺すのは人であって銃ではない!



銃社会賛成側

他にも…

- ・農村部では人口密度が低いため、犯罪に巻き込まれた際に警察が来るのが遅い

#### 銃社会の常識を知らず、実際に起きた事件

- ・米における日本人留学生射殺事件

夜間に敷地内に日本人が誤って入ってきた。その際「動くな」と言われても動いていたため、害意があると誤解して発砲、射殺。その後の刑事裁判で発砲した米人男性の無罪が確定した。

#### 考えられる対立の原因

- ・銃社会における常識やマナーに対する知識不足
- ・銃事件によって作られた銃社会の負のイメージ

銃社会=危険という認識だけで文化そのものを否定している。

### ③ ムスリムの衣服

ムスリムの衣服文化における偏見と対立

#### ・フランスのブルカ禁止法

2011年に、フランスでブルカと呼ばれるムスリムの衣服を公共の場で着用することを禁じる法律ができた。

ブルカを着用することはイスラム教の伝統や慣習に対する敬意です!



ムスリムの女性

ブルカ禁止法に違反すれば、刑罰が課せられる場合があります。



フランス政府

日本では…

会社でヒジャブ(イスラム教の伝統衣服)を取れと言われます。



ムスリムの女性(日本在住)

他国でも…

- ・学校でヒジャブの着用を禁じられたソマリア難民による裁判(チェコ)
- ・ヒジャブの着用で会社の採用を断られたムスリム女性による裁判(アメリカ)

#### 考えられる対立の原因

- ・イスラム教信者=テロリスト、危険人物という誤ったイメージによりイスラム教自体を知らないままに拒絶している。

## 4. 偏見をなくすために…

これらの対立の原因から…その文化の背景や現地の人の考え方を正しく知ることが重要

### ▷ エスノグラフィーの採用

→現地を実際に訪れ、感覚的・視覚的に文化について理解  
(例)捕鯨を行う地域のフィールドワーク

### ▷ メディアの活用

→親しみやすい手段からの文化へのアプローチ  
(例)コメディなどによる表現の工夫

## 参考文献

『クジラは海の資源か神獣か』(石川創 2011/1/30) 『クジラと日本人』(大隅清治 2003/4/18) YouTube・JWA 日本捕鯨協会Japan Whaling Association3:28 それでもあなたは、クジラを食べることに反対ですか? 2014/08/19 <http://www.afpbb.com/articles/-/3115857?examp=all&act=all> 『銃に恋して 武装するアメリカ市民』(半沢隆実 2009/2/22) 『アメリカ病』(矢部武 2003/5/20) 『日本の中でイスラム教を信じる』(佐藤兼永 2015/7/10) ヒジャブ禁止は差別 ソマリア難民の主張、裁判で認められず チェコ(2017/1/29) <http://www.afpbb.com/articles/-/3115857> ヒジャブ着用で採用拒否は雇用差別か、アバクロ訴訟 米最高裁へ(2014/10/3) <http://www.afpbb.com/articles/-/3115857> ~「ブルカ禁止法」がフランスの理念と現実の矛盾をあぶりだす(荒木重雄 2010/9/20) <https://www.alter-magazine.jp> TED talks <https://www.ted.com/talks?language=ja> 私を見て、あなたはどう思いますか?(ダリア・モガヘッド 2016/2) イラン系アメリカ人の噂聞いている?(マズ・ジョブランチ 2012/11) エスノグラフィー・行動観察調査の3つの価値(2016/12/16) <https://popinsight.jp/blog/?p=2142>